



企業からの障害者雇用の現状と課題

障害者を特別扱いしない職場作り
～「好き嫌い」ではなく、
「自分自身のため」に働く～



有限会社 フジ化学

〒418-0022

静岡県富士宮市小泉444番地の1

電話 0544-22-4441 FAX 0544-22-7771



■ (有) フジ化学について ■

設立：1966年（昭和41年）6月14日

本社、工場：富士宮市小泉444番地の1

敷地：992.25平方メートル 建物 鉄骨造2階建

工場、事務所：662.73平方メートル

機械：全自動六価クロムフリー対応亜鉛メッキ装置

主な取引先：高木産業（株） 東芝キャリア（株）（有）鈴木製作所 丸山工業（株）
 西山工業（株）（有）井出製作所 （有）山梨製作所 （有）日東工機 （株）日新製作所
 沼倉工業（有） 小林工業（株） 富士一工業（株） トシダ工業（株）（株）エッチ・ケー・エス
 （株）畠山製作所 静岡発条（有） 藤精機（株） （株）オギ コスモテクノ（株）
 フジインターナショナル（株） （株）セキコーポレーション 国産電機（株）
 （有）大井製作所 （株）佐藤精機 東海金属工業（株） 等

沿革：

- 昭和41年 6月 富士市天間690番地の1にてメッキ加工業資本金50万円で操業開始
- 昭和62年 4月 富士市天間679番地に本社移転、工場新築バレル自動亜鉛メッキ装置導入
- 昭和63年 4月 全自動静止亜鉛メッキ装置1号機導入
- 平成 7年 3月 資本金300万円に増資
- 平成14年 6月 資本金3400万円に増資
- 平成15年 1月 富士宮市小泉444番地の1に富士宮工場新築、
六価クロムフリー対応全自動静止亜鉛メッキ装置2号機導入
- 平成15年 2月 環境活動コンテストにて審査員賞を受賞
- 平成16年 3月 富士宮市小泉444番地の1に本社移転
- 平成16年 6月 品質ISO9001と環境ISO14001を同時認証取得
- 平成17年 12月 経営革新計画承認
テーマ：3価黒色クロメート処理の技術開発及び
- 平成21年 11月 一社一村運動認定



経営方針

産業として工業生産の一翼を担う金属表面処理である亜鉛鍍金を主に創業、顧客の要求である安定品質と短納期ローコストを満足させることを貫く。

地域の雇用問題においては、ノーマライゼーションを実践し、積極的に障害者雇用に取り組み、企業の社会的貢献を負う。

現場の管理レベルの向上と全員参加の営業。

環境方針

監視の徹底により、排水管理能力を高める。

5S活動によるクリーン活動を実践、ゴミナシヨゴレナシの清掃点検により不具合、微欠陥排除を達成する。

工程管理能力を向上させ、不適合品・再処理品の発生を削減し、省資源に寄与する。

6価クロムフリーの普及により、環境負荷物質の排出を低減させる。

そのため、EMSのPDCAサイクルを実施することにより継続的改善を図るとともに、環境関連法ならびに当社が同意するその他の要求事項を順守する。

品質方針

良いものを、早く・安くの精神は、顧客の為にあり、常にそのニーズに適合する活動を進める。

品質保証はトレーサビリティから、をモットーに、履歴・記録の文書化、及び保管を行う。

3Sを徹底させることで、品質の安定供給を達成する。

以上について、今後、目標の設定、見直しを図る。

平成15年 11月1日 制定

平成18年 9月21日 改訂

有限会社 フジ化学 代表取締役

遠藤一秀

■ノーマライゼーションとは・・■

(normalization) は1960年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つ。障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。

またそれに向けた運動や施策なども含まれます。

■ノーマライゼーション実施の根底■

代表取締役遠藤一秀の父が高校2年の時に他界、高校卒業と同時に入社した時には、前職が教育者であった祖父、祖母の教え子（知的障害、聴覚障害のある方）がすでに働いていた。



日常の当り前のことであり障害をもっているからと特別に感じた事は、無かった。

■岩城賢氏と出会い■

1987年（昭和62年）4月に自動亜鉛メッキ装置導入時に、更に人手がいるようになり思案していた処、1988年（昭和63年）に静岡県立富士見学園の当時の園長、岩城賢氏と出会い、平成元年より卒業生の受け入れ先として雇用を始め現在も雇用を続けている。

■ クリーン工場から環境にやさしい製品 ■

Eco-coat



フジ化学では、EU規制ガイドラインに基づき平成15年1月より6価クロムフリー技術に対応した製造ラインを提供いたしております。



■ 本当の意味で手取り足取りの教育OJT ■

手で持つ位置、立ち位置等：

安全に作業をするための大切なポイントである。※わかりやすい言葉で指導。

ハンガー掛け等の体験：

健常者も体験してみて皆で安全ポイントスムーズに作業が出来るやり方を確認して指導している。

製品の持ち方から指導：

実際に、良い例、悪い例の見本をみせたり実行して貰い、目視で出来ているかを確認。

※持ち方により製品の落下率等が減りなおかつ安全に作業が行える。

年に一度、ハンガー掛けの速さを競い上位入賞者を表彰したり励みになるよう考えている。

※良い点を誉める教育



↑
基本
はっけよい
の姿勢



↑
正しい持ち方○



↑
間違えた持ち方×

■現場での教育、表示■

毎日朝礼を実施しコミュニケーションをはかり
K Y T（危険予知トレーニング）を取り入れ安全でスムーズに
作業が出来るよう
常に、

心がけています。

■関連個所に表示■
シュミュレーション
を行います。



手洗いについて↓



↑作業時の注意事項

←左)
連絡コーナー
(連絡事項)

←右)
KYT
(危険予知トレーニング)



■百聞は一見にしかず■

相手の目線に立つ。

工場内は、ライン等で通路をわけ、製品の置場等も決まっています。

しかし、製品を運ぶためフォークリフト、トラックも通るため危険が伴います。

実際に運転席に座ってみてもらい、どのように見えるかシュミュレーションを行います。

※このシュミュレーションもドライバーの意見から始まりました。

製品を大切に運ぶ女性のドライバーが活躍しています。



■緊急事態の訓練■

東海地震や、火災を想定し、落ち着いて安全に避難出来るように二次災害等が起きないように、毎年、緊急事態の訓練を実施、手順に改善点等が無いかな？常に見直しています。



■仕事以外の指導■

挨拶の大切さ、目的、夢を持つことの大切さ：

・今やっているメッキしている製品が、車の部品や家電になること・。

・働いてお給料を貰い、好きなものを買ったり将来の為の貯蓄の大切さ財形貯蓄の必要性について
※家庭の事情もあるが少しずつでも貯蓄できている。

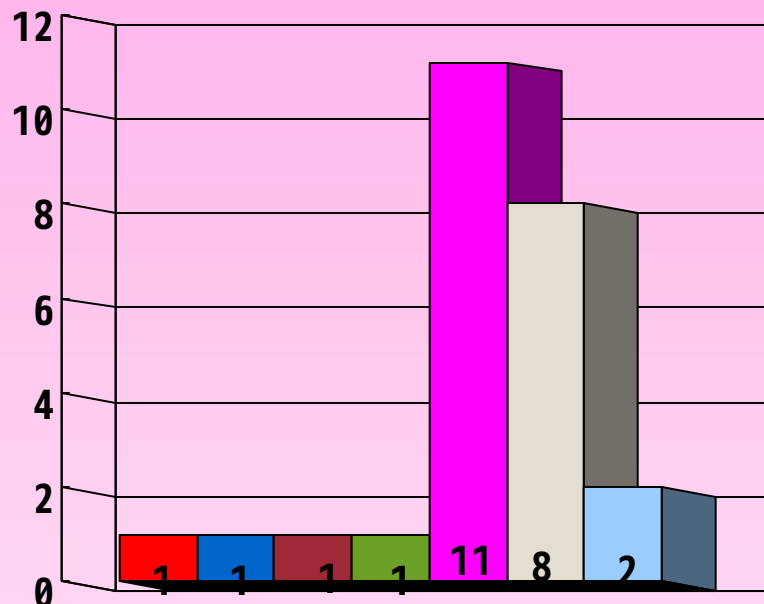
■出来ることを着実に個性を活かす■ (2009. 10月現在)

正社員38名中 25名の障害のある方が働いています。

A知的重度、B知的軽度、C視覚

勤続年数	作業内容	区分	計人数
18年	製造部リーダー	B	1名
18年	製造部サブリーダー	B	1名
8年	吊るし外しラインリーダー	C	1名
9年	業務全般	A	1名
20年、14年(2)、 8年、7年、6年、 4年(3)、2年、1年	加工治具へのメッキ部品吊るし	A 7名 B 4名	11名
17年、15年、13年、 7年、6年、5年、4年、 2年	加工治具へのメッキ部品外し	A 6名 B 2名	8名
3年、1年	投入補助	A 1名 B 1名	2名
A13名・B11名・C1名		計	25名

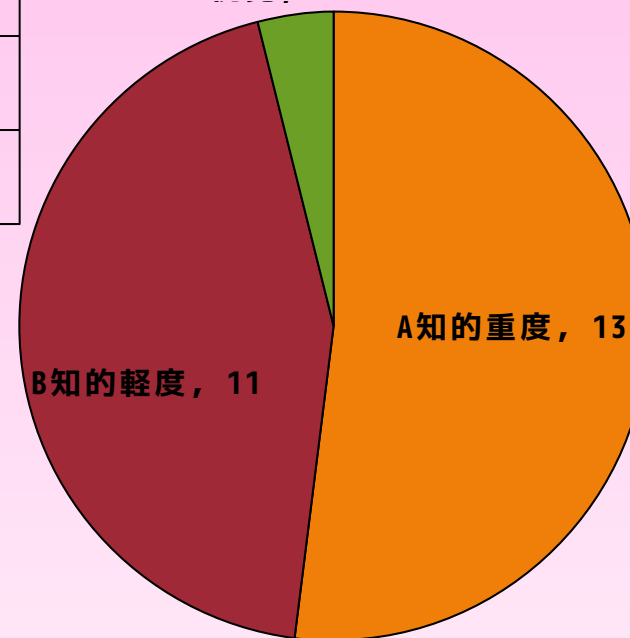
■ 仕事の内容別人数 ■



- 製造部リーダー
- 製造部サブリーダー
- 吊るし外しラインリーダー
- 業務全般
- 加工治具へのメッキ部品吊るし
- 加工治具へのメッキ部品外し
- 投入補助

■ 障害区分別内訳 ■

- A知的重度
- B知的軽度
- C視覚



■実習、受入状況■ (2003～2006年)

年	期間	受入元	人数
2003年	1/27～2/7	あしたか職業訓練校	1名 ※4月より就労
	1/27～2/1	太陽の丘 あしたかワークセンター	1名 ※2月より就労
	6/30～7/11	太陽の丘 あまぎ学園	1名
	12/1～12/5	富士宮第二中学校 養護学級	2名
2004年	9/7～9/18	浜松学園	1名 ※4月より就労
	12/6～12/19		
2005年	2/14～3/16		
	10/24～11/4	太陽の丘 あしたかワークセンター	1名
	11/7～11/18	あしたか職業訓練校	1名
	11/7～11/18	太陽の丘 あまぎ学園	1名
	11/21～12/2	太陽の丘 あまぎ学園	1名 ※4月より就労
1/16～1/27			
2006年	11/15～11/17	ジョブネット原	5名
	11/20～12/1	くすの木学園	2名

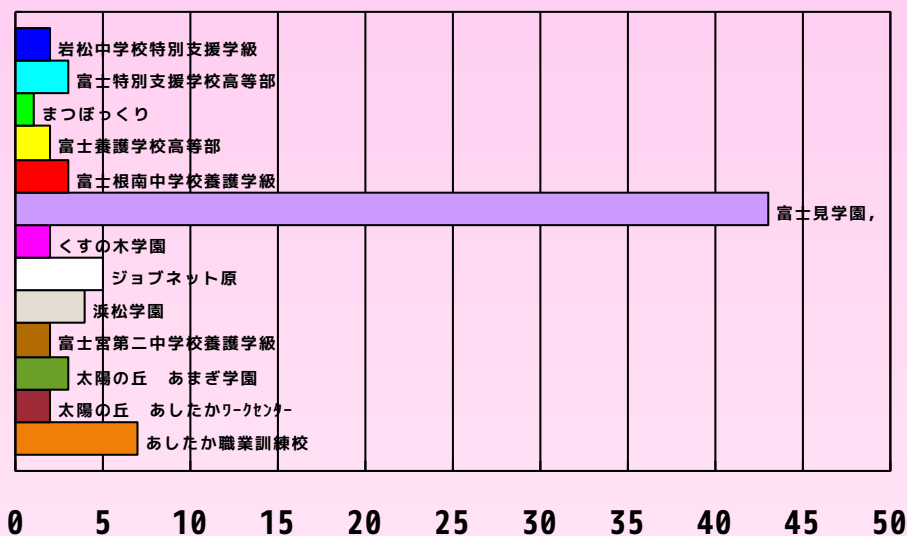
■実習、受入状況■ (2006～2008年)

年	期間	受入元	人数
2007年	10/11～11/9	富士見学園	25名 ※1名に付き2日
	10/18～10/26	富士養護学校高等部	1名
	11/19～11/30	富士根南中学養護学級	2名
	11/26～12/7	あしたか職業訓練校	3名
	12/13～12/26	浜松学園	1名
2008年	1/15～2/1	あしたか職業訓練校	2名 ※4月より就労
	2/29	富士養護学校高等部	1名
	3/17～3/28	まつぼっくり	1名
	6/30～7/9	富士特別支援学校高等部	1名
	7/22～8/1	富士見学園	1名
	10/6～10/28	富士見学園	17名 ※1名に付き2日
	11/7～11/20	富士特別支援学校高等部	1名

■実習、受入状況■ (2009年)

年	期間	受入元	人数
2009年	2/16~2/20	岩松中学特別支援学級	1名
	6/17~6/23	富士特別支援学校高等部	1名
	7/6~7/17	岩松中学特別支援学級	1名
	9/7~9/18	富士特別支援学校高等部	1名
	10/5~10/16	岩松中学特別支援学級	1名

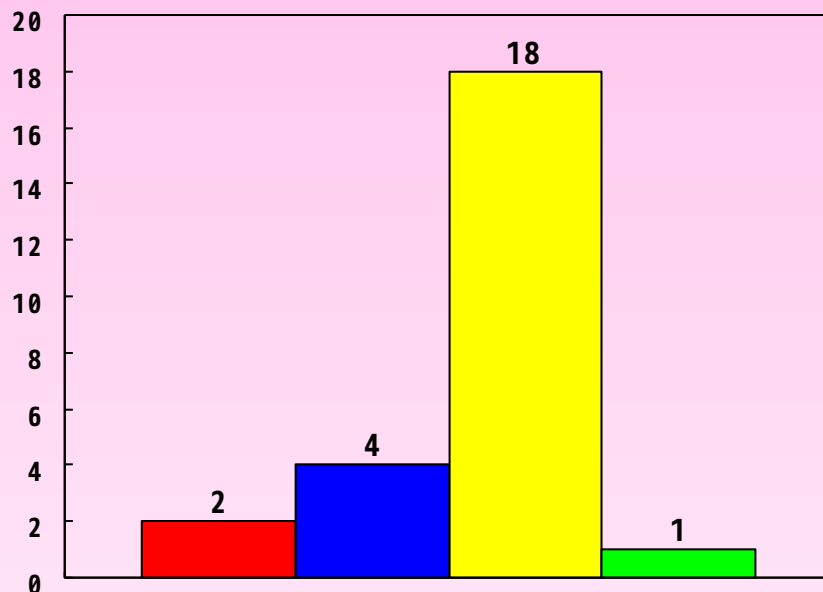
2003年～2009年10.16 (6年間) 実習、受入状況 (13箇所、実習者計79名、就労者6名)



- 岩松中学校特別支援学級 2名
- 富士特別支援学校高等部 3名
- まつぼっくり 1名
- 富士養護学校高等部 2名
- 富士根南中学校養護学級 3名
- 富士見学園 43名
- くすの木学園 2名
- ジョブネット原 5名
- 浜松学園 4名
- 富士宮第二中学校養護学級 2名
- 太陽の丘 あまぎ学園 3名
- 太陽の丘 あしたかワークセンター 2名
- あしたか職業訓練校 7名

■給与■

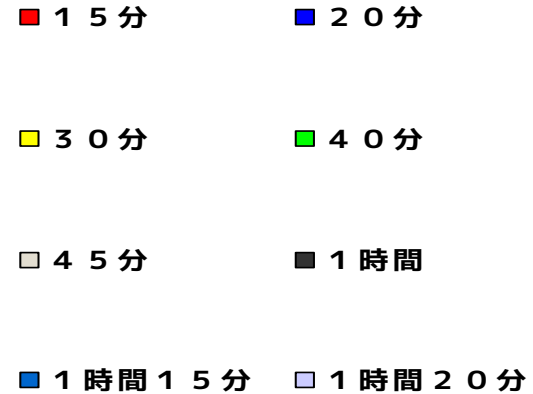
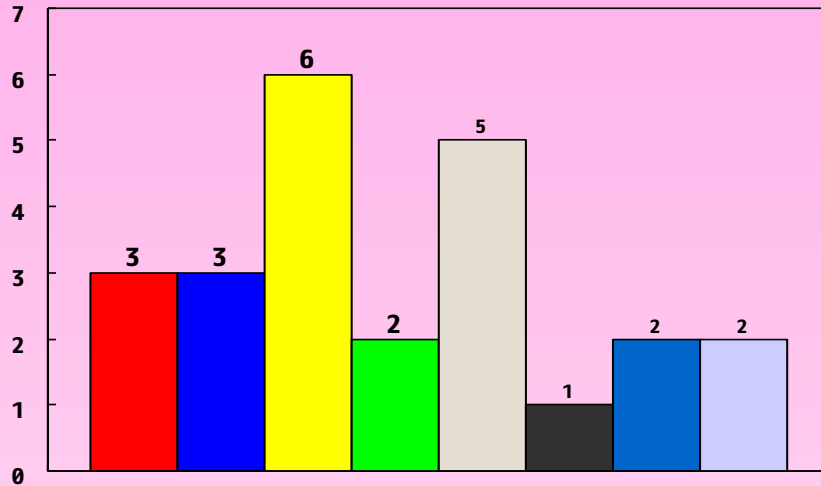
作業内容（能力）、勤務体制により違いは、あるが最高金額者は、平均月給が20万を越える。



- 20万以上
- 15万以上20万未満
- 10万以上15万未満
- 10万以下

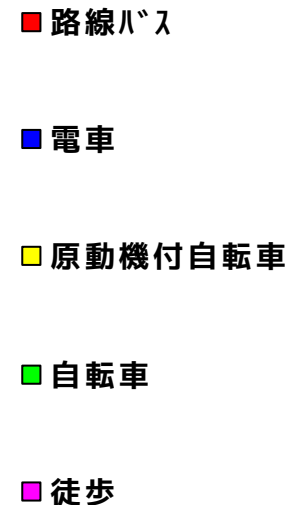
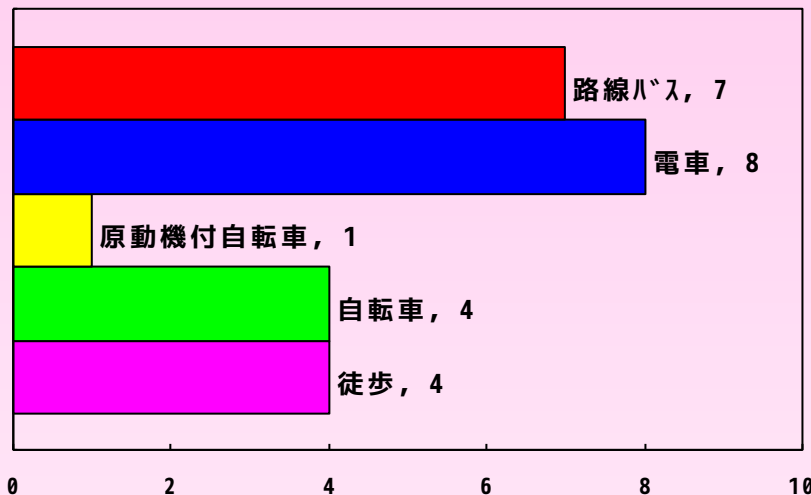
■通勤時間・通勤手段■

通勤時間：寮生活を送る方や、自宅から通勤している方もいる。



通勤手段：

通勤手段として電車、バス通勤が出来るという立地条件も勤めやすい要素である。



■永年勤続者が多い■

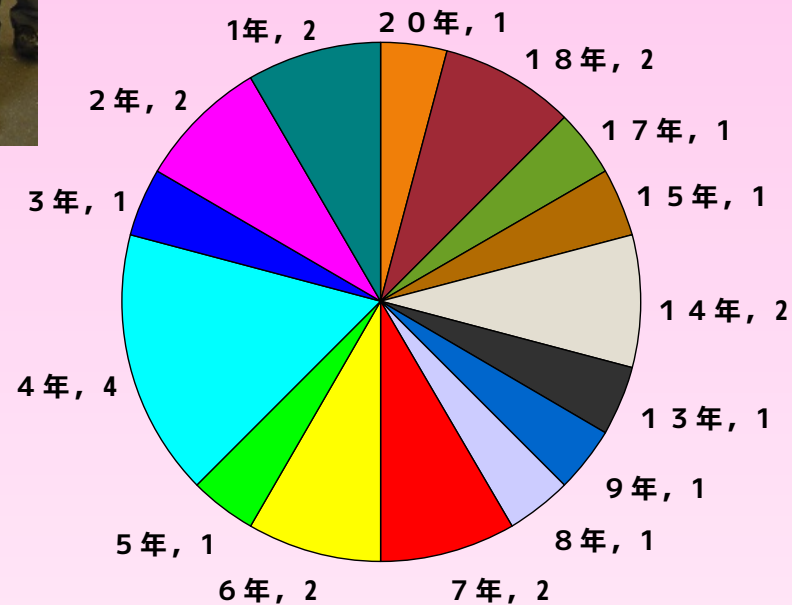


永年勤続者へ表彰状、記念品



※誕生日にも心ばかりのプレゼントもあります。

■フジ化学の作業年数と人数■



■ 苦しいときこそポジティブに・・・ ■

リーマンショックの影響を受け、自動車産業が低迷した為、仕事量が激減した時期があった。

①設備メンテナンスや周辺の清掃等の集中実施

②サッカー部を結成

不安な気持ちにならないように、空き時間を利用してサッカー部を作り練習に励んだ。



『100年に一度の大不況』が産んだ思わぬ副産物
サッカーを通じ
『仲間を思う心・連帯責任』を学んだ！！

■ 2009 準優勝 ■

初参加の『第7回静岡県知的障害者サッカー選手権大会 浜名湖カップ』

※社員は、もとより選手以外の家族も応援にかけつけました。

※下記は、本年の写真。



■不況の最中に新規顧客■

不況の最中にメッキの技術を認められトヨタ系の仕事を受けられるようになり2009.04より開始している。

※他社と比較して仕上がりが違う、メッキの状態がとても綺麗との言葉をいただいた。

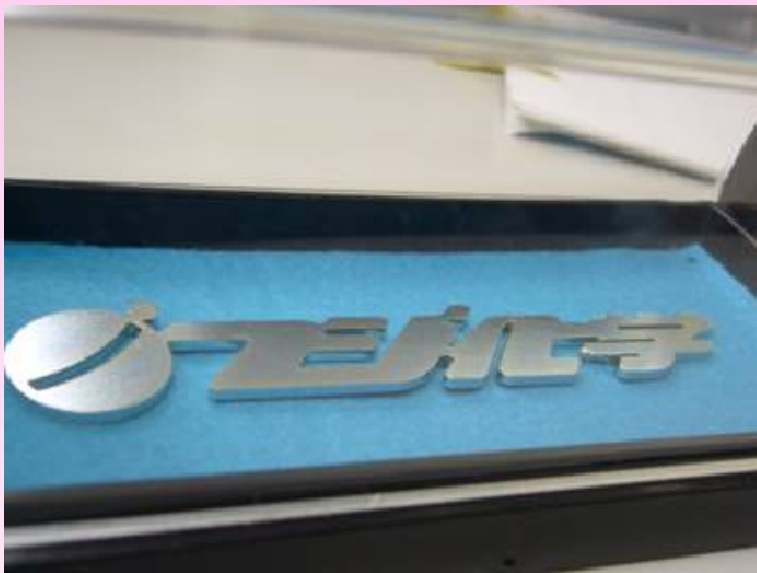
※顧客の監査時に百点満点を頂き、参考にと他の方が見学に見えたこともあります。

どんな時も、まじめにコツコツと良い品質の物を、丁寧に仕上げて来た結果である。

以前は、あった通電不良も0になり、スムーズにメッキ出来ている。

ハンガー掛けは、同じ方向に同じ間隔で掛けて行く地道な作業であり、外す作業、検査、梱包等も同様であるし大切な製品を届けるドライバー等

だれ1人欠けても、出来ないことです。



■会社＝家族■

親睦旅行を行い、それぞれの家族も参加して親睦を深めています。
定着（長期勤務）を目指すためには、家族の支援、理解も大切です。



中途退職者の事例：

■Aさんの場合：知的重度■

兄弟で実習

Aさんの方が大変であった。※実習の結果、Aさんは、不採用。

↓（兄を頼りにして側にいないと仕事が出来ない傾向はあった。）

兄のみ就労※Aさんは送迎時に一緒に付き添って来ていた。

↓

挨拶等をするうちにAさんとコミュニケーションがとれるようになった。

↓

再度実習→状態が良かった→採用

↓

しばらくは普通に作業が出来ていた。

※兄を頼りにして側にいないと仕事が出来ない傾向はあった。

↓

依存心が強くなりスタッフ等が側にいないと仕事が出来なくなった。

↓（かかわり過ぎると甘えてしまう適度な距離感が必要）

状態が悪くなり作業に入ることが出来なくなってしまった。

ロッカールームから出てこれなくなったり、作業中に固まってしまうことが増えて来た。

↓

何かしらのトラウマがあってそういった状態になることが判明・・・。

※以前就労していた所で、トイレに閉じ込められたことがあり、それから変わってしまい、それが何らかの原因でフラッシュバックされていたと思われる。

入社当初に、その件を会社側が知っていれば、悪化する前になんらかの対策が出来たと思われる。

※コミュニケーション不足（マイナスイメージになるとと思われることは保護者が隠してしまう傾向がある）気持ちは、わかるが配慮しきれない部分となってしまう。

■Bさんの場合：知的経度※自閉傾向があるが断定されていない■

仕事が出来しっかりしていた。

※ブログ等もやっていた。（書き込み等に全て回答していた。）



睡眠不足等→仕事に影響（暴力的になった）

※会社のルール自体も、耐えられなくなってしまった。

※何度か辞めたいと繰り返しており、会社としては、休職をすすめており

何度か休職、復帰を繰り返した。1～2ヶ月休み復帰を3回程度繰り返していた。



退 職

家族の希望（父親が定年退職を機に家族で話し合い自閉症について真正面から向き合って行きたいといった理由）

以前就労していた会社で暴力を振るわれたことがあり、それについて思い出すことがあると当初から本人が言っていた。

会社に対して、ルール等が納得がいかないと本人が思うとそれについてこだわってしまい辞めたくなくなってしまう。

■現在就労中の社員でも・・・■

以前就労していた所で暴力を振るわれたことがあり、側を通ると顔を思い出し怖くなって駅で動けなくなったことがあった事例もある。

※トラウマになってしまうことも多い。

■Cさんの場合：知的軽度■

明るく仕事も出来るタイプ

入社当初から即戦力になり、サッカー等も上手く張り切っていた。



家庭環境は兄弟が多くて家事や、兄弟の面倒をみていた。



引っ越しをするため退職を申し出た。

家族間でDVがあり、それから逃げるために引っ越しをすると説明



就労継続をすすめる。

会社としては、Cさんは将来有望でもあるため

1人暮らしをして勤めを続ければと提案



退 職

居場所等を追及される恐れがあるため継続は無理だと判断された。

■調査対象以前Dさんの場合：知的重度■

仕事を一所懸命がんばっていた。



家族がDさんの給料等を使ってしまい更に、保険証を使って借金をしてしまった。



Dさんの将来が心配になったので会社側が保護者に相談した。



退 職

※保護者が、会社側にあれこれ言われたくないと会社を辞めさせてしまった。

■適応出来ない方もいる■※今回発表資料期間に3名が退社しました。

会社としては、十分な教育、環境を整えていると思っているが、本人の体調、本人、家族の考え方によって途中で退社してしまうケースもある。

①本人、家族との話し合い。

②改善できる点は、無いか？→改善。

③本人、家族、会社も努力は、するが無理強いは、出来ない。

※無理に、勤務することによってストレスになり本人に負担になるような場合には、時間短縮→休職をして様子を見るが場合によっては、退職してしまうこともある。

※その方に合った良い道を選んで行く事が大切だと考えております。

※家庭環境、家庭の事情で退職が多い。

※以前にあったことがトラウマとなって現在や将来影響することも多い。

■定着出来ない背景■

少子化の影響？：・わが子可愛さの余り、過保護気味になってしまいがちな点もある。

・実直であるが勘違いをしてしまうこともあり本人と会社側の意見とが、くい違ってしまう場合がある。

親の思考：

・寄らば大樹の影（大企業や有名企業）を選ぶ傾向もある。

・本人の言葉を過敏にとらえてしまうケース

※被害者意識？。（悲観的になってしまう場合もある）

悲観的になってしまうには、入社以前のこと等がトラウマになってしまっていることが多い。

※辛い目には、合わせたくない、でも自立して欲しい。

・マイナスになりそうな情報は知らせたくない。

■コミュニケーション■

会社、本人、保護者のコミュニケーションも大切であるが、

行政支援、指導等で温度差があり個別支援の妨げになる場合さえある。

※本人の意思が大切であるので、出来る限り尊重し就労を続けられる環境が必要である。

■今後の展望■

	作業種別	利用者定員	従業者配置
就労継続支援A型	すずめつきライン	各20名	総勢7名 ※職業指導員及び生活支援員 各1名以上
	亜鉛めつきライン		
	カチオン塗装ライン	計60名	
	水耕栽培（サラダホウレン草）	各5名	
就労継続支援B型	大協プラス下請け内職 ☆リングはめ	各5名	総勢2名 ※職業指導員及び生活支援員 各1名以上
	大協プラス下請け内職 ☆バリカット		
	ハウス栽培 糸瓜栽培（へちま水）	計15名	
就労移行支援	耕作放棄地の景観整備 農業（稲作 有機野菜）	10～15名	総勢2名 ※職業指導員及び生活支援員 各1名以上
	こどもの国の草刈作業等		
	屋上緑化基盤への充填材製作		

